

横浜市事業評価会議会議録	
日時	平成23年10月29日（土）10時00分～10時05分
開催場所	横浜市開港記念会館2階6号室
議事	<p>開会の挨拶</p> <p>（事務局）皆様おはようございます。ただいまより平成23年度横浜市事業評価会議を開催いたします。私は、本日の事務局を担当しております総務局の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開催に当たり、市長の林よりごあいさつ申し上げます。林市長、よろしくお願いいたします。</p> <p>（林市長）皆様おはようございます。大変お忙しい中このようにお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>この横浜市事業評価会議でございますが、今年で2回目でございます。昨年、会議に御参加いただいた方からは大変意味のあるいいものだと御評価もいただきました。ただし、もう少し改善したほうがいいという声を多数いただきました。一つは開催日でございます。前は平日でございました。これではもうお休みでもなければ、なかなか参加できないということで、今回は土曜日に開催をさせていただきました。</p> <p>そして、これからいろいろと議論していただくテーマでございますが、これも去年は私ども市のほうからお示しをしました。今年は市民の皆様にもまず私どもが御提示した事業の中から選んでいただきまして、そしてそれを議員の先生方にも見ていただいて、そして今回のテーマ選定となっております。そういう改善もさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それから、市民の皆様の御参加が去年は6名の方々でございましたけれども、ことしは18名に増やさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>この横浜市事業評価会議でございますが、国や多くの自治体で行われている事業仕分けとは異なります。どうすれば効果的・効率的な事業となるのか、事業改善の視点を取り入れまして、そしてさまざまな角度から活発に御議論いただくことが目的でございます。そして、この会場で今ご覧いただく皆様、そしてインターネットを通じて会議をご覧になっている市民の皆様は、ぜひとも本日の活発な議論をじっくり聞いていただきまして、また市政への関心をより高めていただいて、これからも多くの御意見を市のほうにお寄せいただきたいと思います。</p> <p>3月11日の大震災を受けまして、本当に今も東北地方の被災地の方は懸命に御努力なさっています。横浜市といたしましても引き続きご支援を続けてまいります。そして、市としてもこの震災をきっかけに多くの新たな課題も出てきているわけでございます。特に公共の施設の耐震対策というのは急務でございます。しかし、これも大変費用のかかることでございます。</p> <p>そして放射能汚染対策、市民の皆様の安全と安心を確保するためには本当に費用</p>

がかかってまいります。市の財政状況は依然としてこういう世界的経済の中、日本経済の中で厳しい状況が続いております。こういう既存の事業をしっかりとチェックいたしまして、その効果をしっかり見極めて、正しい選択と集中を図っていかねばならないと思っております。

どうぞ、今日はこの会議の中で活発に御議論いただきたいと思っております。本当にお忙しい中ありがとうございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務局) それでは、この後のスケジュールについて御説明いたします。本日はA班、B班の2つに分かれて会議を行います。まずこの部屋6号室はA班の会場となります。ここではこの後、子育て支援拠点や活動施設のあり方について会議を行います。そして1階1号室はB班の会場となります。B班会場ではこの後、中小製造業支援のあり方について会議を行います。

なお、本日、林市長は次の予定がございますので、途中で退席いたしますので、あらかじめ御了承ください。会議は10時15分より開始いたしますので、それまでに傍聴を希望される部屋に移動していただきますようお願いいたします。それでは移動を開始してください。よろしくお願いいたします。

当日資料の確認

(大野進行役) 皆さんおはようございます。定刻となりましたので、これよりA班の横浜市事業評価会議を開催いたします。マイクの都合上、座ったままで進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。私は、この会議の進行役を務めます関東学院大学学長の大野と申します。よろしくお願いいたします。

先ほど林市長のごあいさつにありましたように、昨年度、第1回が開催され、大変評価をいただいております。そのとき司会をやらせていただきました。今回2回目となります。本日もまた皆様の御協力をいただきまして活発な意見をいただきたいと思っております。そして、それが何らかの形で市政に反映され、市民の生活に反映されるよう期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず事務局から当日資料の確認事項の説明がございます。よろしくお願い申し上げます。

(事務局) 皆さんおはようございます。事務局を務めます総務局の寺岡と申します。よろしくお願いいたします。それでは、会議の確認事項について御説明いたします。その前に、本日、神奈川新聞社の林論説主幹は、御案内申し上げておりましたが体調不良により御欠席という連絡を承りましたので御了承ください。

それでは、お手元にある横浜市事業評価会議の資料の4ページをご覧ください。4ページに本日のスケジュールがございます。こちらの会場はA班となっております。午前中に子育て支援拠点や活動施設のあり方、午後に外国語教育や国際理解教育のあり方、庶務事務集中化・外部委託化の計3事業について御議論いただくこととなります。

次に、2ページにお戻りください。2ページの(2)でございます。会議の基本原則というものが記載されておまして、主なポイントを申し上げます。アにありますとおり、事業自体の削減のみを目的とせず、効率的・効果的な市政運営のため、多くのお知恵を、前向きな御意見もいただくことを目的としておるものでございます。

また、イにありますとおり、いただいた意見の取りまとめを行いますけれども、最終結論ではございません。各構成員の発言内容を踏まえまして、今後の予算編成などで事業の方向性を検討していきたいというものでございます。

また、ウ・エ・オにございますとおり、恐縮でございますけれども、このような集団討議の場ということでございますので、簡潔な発言など、会議の円滑な進行に御協力いただきたいと思います。

最後に、カにございますとおり、この会議は本日インターネットを通じてライブ中継が行われております。開かれた会議としたいという趣旨でございますので、よろしく願いいたします。

また、留意事項でございますが、テーブルの上でございますマイクは、場内の拡声のほかに、ネット中継の集音も行っております。大変感度がよいものとなっておりますので、かなり小さな音でも拾うということでございますので、御注意ください。それと、お一人が御発言中に他の方が発言されますと、ちょっと音声がまざり合って、特にネットでは聞きづらい状況になると聞いておりますので、その辺も御注意いただければと思います。

それでは、続きまして資料の8ページをご覧ください。横浜市の財政状況について記載がございます。こちらを簡潔に御紹介したいと思います。まず2の(1)横浜市の予算の構造として、23年度の一般会計予算における歳出・歳入の内訳を記載しております。

おめくりいただいて9ページをご覧ください。まず歳入、上のほうが一般財源でございます。下が税目別の市税収入、これの10年間の推移を載せております。

続きまして10ページでございますけれども、今度は歳入のほうでございます。一般財源の使途、使い道です。及び下のほうでは、施設等整備費と扶助費の10年間の推移。また、おめくりいただいて福祉関係予算の状況、また12ページの上のほうですけれども、市民に身近な事業の1人当たりの負担額などを載せております。

次に、12ページの下グラフでございますが、一般会計の市債の発行額と市債残高の推移について載せております。

おめくりください。13ページの上の表でございますけれども、平成15年から事業見直しに取り組んだ件数、効果額の推移を載せております。同じページの下でございますが、今後の財政見通しとして25年度までの中期財政見通しについて記載しております。

最後に、14ページのまとめでございます。これまで横浜市の財政状況に関する資料でございますとおり、景気が不透明な中で市税収入の増収が見込みにくい状況でございます。先ほど市長も申し上げておりましたけれども、施設の耐震化などの震災対策を早急に進めることが必要であること、また福祉関係予算や、今まで建設してきました施設の建てかえや補修経費の増加も見込まれております。したがって、例えば利用者の負担のあり方とか、サービス水準の適正化など、収入・支出両面から徹底的な見直しを行うことが必要であるというのが、本市の財政状況ということで、まとめのところに記載されております。

これらを踏まえまして、これからの議論をよろしくお願ひしたいと思います。以上でございます。

(大野進行役) ありがとうございます。